

卒業生に思う

山口大学教育学部附属山口中学校 副校長 末永 勝明

「末永先生ですよね。」9月1日(土)に行った学園祭文化部門の昼休みに校内を回っていると赤ちゃんを抱っこした女性に尋ねられました。「はい。」するとその女性は「〇〇です。『〇〇ちゃん』です。」(『〇〇ちゃん』とは当時その女性がみんなから呼ばれていた愛称)自分が附属中学校に教諭として勤務していたとき、3年生で担任した生徒でした。するとその女性は「近くに住んでいて、附中を訪ねてみたいといつも思っているのですが、なかなか普段は難しいので、学園祭なら普通に学校の中に入れると思って来てみました。」と話しました。「当時と(校舎が)変わってないですね。」変わっていないことが彼女にとってはとてもうれしい様子でした。

昨年の秋には、(これもまた、たまたま教え子だったのですが)附属中の同級生同士で結婚し、記念の写真を中学校で撮影できないかと相談をうけたことがありました。日程調整をすると、ちょうど本校の合唱祭の日(市民会館で開催されるため昼間は学校にだれもいない)になり、かつて彼らが過ごした教室や体育館の中でウェディングドレスとタキシードに身を包んだカップルがすてきな思い出の写真を撮ることができました。本校の卒業生にとって附属中は決して彼らが生まれ育った「地域」に根ざす学校ではないかもしれませんが、いつまでも懐かしく思い、訪れてみたい母校であることは間違いないようです。



学園祭2日目の体育部門。この日も多くの卒業生が訪れていました。驚いたのは体育部門のすべてが終了した後のことです。生徒と教職員がグラウンドの片付けを始めました。テントをたたんだり、パイプいすや長机を校舎内に運んだりする中に数多くの高校生の姿がありました。ごく当たり前のように中学生といっしょに片付けをしているのです。ありがたく頭が下がりました。そして同時に「何が彼らをそうさせるのだろう」とうれしくもあり、また不思議にも思いました。



自分が卒業した小学校、中学校、高等学校...誰もがいつまでも誇りに思いたいはずです。卒業して(何年たっても)自分の母校の活躍を聞くとうれしいものです。

附属中学校は「地域をもたない学校」と言われることがあります。附中生は山口を中心として広範囲から通学してきます。確かに公立の学校とはちがい、自分が生まれ育った地域にある学校ではないかもしれませんが、そして、卒業生はさまざまな地域で活躍しています。ですが、この附属中学校はそんな卒業生(同窓生の皆様)にいつまでも気にかけていただいているようです。これからもそのような人々にとっていつまでも誇れる、心のよりどころとなる附属山口中学校でありたいと思います。



第45回学園祭「ともに」を振り返る

9月1日、2日に学園祭を開催しました。1日の文化部門の日はあいにくの雨、2日の体育部門は暑い一日となりましたが、それまで準備してきたことを来校していただいた方々にしっかり披露することができました。このような学園祭ができたのは、生徒の取組はもちろんですが、保護者の方、地域の方の御協力があったことだと感じています。今後ともよろしくお願いいたします。

『3年学年だより』から・・・

学園祭実行委員長 時乗壮太
みなさんはこの学園祭で何を学び、どう成長しましたか？僕は仲間の大切さを学び、人として一歩成長できました。準備期間から当日まで僕はたくさんの失敗をしました。しかし、そのたびに支え励ましてくれる仲間がいました。そんな有り難い仲間に「ありがとう」を伝えたいです。みんな本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

文化部門長 西村凜

まだまだ先のことだと思っていた学園祭は、終わってみるとあっという間に過ぎてしまいました。文化部門委員の中では短い準備期間であってお客様に楽しんでもらえる、附中の魅力を知らせてもらえる学園祭文化部門を目指してきました。楽しんで頂けるかどうか不安で迎えた当日でしたが、来場者の方に「楽しかったよ」などの声を聞かせて頂いて、この仲間と「ともに」できて本当に良かったです。けれども、これからが勝負です。継続は力なりといいますが、学園祭で培ったエネルギーを継続してこそ真の力だと思います。中学校3年間の集大成に向けて「ともに」高めあっていきたいです。

体育部門長 山本猛

僕は学園祭を通してさまざまなつながりを感じ、コンセプトである「ともに」を深めることができたと思います。「ともに」をつくることはとても難しく、最初はなかなかうまくいきませんでした。でも大変さを知ったからこそ人と協力することができ、そして多くの人に協力してもらうことができました。そんな関係こそが「ともに」の土台となり、生徒会のめざす学園像につながっていると思います。これからもさまざまな場面で協力していきたいです。

青組団長 大枝恭輔

この学園祭で、前で立って話す人の気持ちをよく理解することができました。以前までは、人の話を聞き流すクセがついていました。しかし、学園祭準備期間中、前に立って話す時、なかなか上手に思いを伝えることができませんでした。これからは、前で話す人のたいへんさを理解した人として、しっかり支えていきたいです。

黄組団長 ✓井大耀

今年の学園祭準備期間は例年に比べて短かったため、完成度の高いものをつくり上げられるかどうか正直不安でいっぱいでした。しかし、黄組の仲間が献身的に支えてくれたおかげで、表現優勝をとることができました。私たち表現係は先生方、クラスの間、体育部門委員など数えきれないほどの人達の支えがあってこそ成り立つことができたと思います。本当にありがとうございました。

紅組団長 河村賢吾

団長として学園祭を振り返ると、表現の練習がなかなかスムーズに進まなかったり、うまくみんなをまとめられなかったりして、とても苦しく、辛かったなと思います。しかし、表現係の人やみんなの頑張りで、最後は総合優勝という形で終わることができました。その瞬間、今までの苦悩も吹き飛び、とても良い経験をさせてもらったと思いました。そして、僕を団長として支えてくれた表現係の人達にはとても感謝しています。

白組団長 末永太一

僕は今回の学園祭学習で「仲間」の大切さを学びました。何事も自分だけではできません。それを「ともに」支え合う仲間がいてはじめてできたと思うのです。僕は今回団長という立場で周りを見ていたけれど、支えてくれたのは表現係だけではなく自分。自分の周り以外にも仲間がいるということにも気づくことができました。これからもこの経験を活かし仲間と「ともに」頑張っていきたいです。

10月の予定

部活終了17:15 最終下校17:30 ～19日まで教育実習があります～

5日(金)山口市中学校新人体育大会(～7日)

3年習熟度テスト

8日(月)体育の日

16日(火)中央委員会

19日(金)合唱祭中間発表

実行専門委員会

20日(土)オープンキャンパス

22日(月)振替休日(20日分)

25日(木)合唱祭



校庭にイチョウの木がありますが、ギンナンが落ちています。

☆10/20オープンキャンパスについて☆

受付 13:20 ～ 13:45

授業参観 14:05 ～ 14:55

学校説明 15:10 ～ 16:20

本年度もオープンキャンパスを実施します。対象は小学校6年生とその保護者の方です。事前の申し込みは必要ありません。なお、自動車の乗り入れはできません。



※終学活で合唱祭の練習が始まります。

